

平成 31 年 1 月 21 日

保護者・生徒の皆様

大阪府立富田林中学校
校長 大門 和喜

平成 30 年度学校教育自己診断結果について

厳寒の候、保護者の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育活動にご理解をいただき深謝いたします。

さて、先日実施いたしました学校教育自己診断の集計がまとまりましたので、お知らせいたします。頂いたご意見は今後の学校教育の改善に生かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

なお、本校の教育目標は、「地球的な視野に立ち、地域や国のことを考え行動し、国際社会に貢献する人材の育成」であり、そのために育みたい 3 つの力は「グローバルな視野とコミュニケーション力」「論理的思考力と課題発見・解決能力」「社会貢献意識と地域愛」です。

以下、いくつか項目を挙げ、診断結果を分析いたしました。

1. 学校満足度

(1) 生徒

「富田林中学校へ入学してよかった」・・・・・・・・・・・・・・・・・・85.5%

(2) 保護者

「富田林中学校で学ばせることが出来てよかった」・・・・・・・・・・93.4%

*学校に対しては概ね満足いただいているようです。この結果を踏まえ、今後、生徒・保護者ともに一層満足していただけますよう取り組んでまいります。

2. 学力の育成

(1) 生徒

「わかりやすく興味が持てる授業が多い」・・・・・・・・・・・・・・・・80.2%

「教員の ICT 機器の使用は、内容を理解する上で効果的である」・・・・96.5%

「内容を深く考えさせる授業が多い」・・・・・・・・・・・・・・・・79.7%

「授業中は集中して先生の話の話を聞いている」・・・・・・・・・・87.7%

「課題や宿題の量は適切である」・・・・・・・・・・・・・・・・37.9%

「家庭学習を毎日 90 分以上している」・・・・・・・・・・・・62.6%

*教員の授業内容や ICT を活用するなどの工夫や、生徒自身の学ぶ姿勢については、概ね良好な回答でした。ただ、宿題や課題の量について、生徒には負担感があるようです。家庭学習については 90 分以上学習している生徒の割合が増加することを期待しています。引き続き、学力向上に向けて必要な課題の量と生徒の学習状況のバランスを見極めながら宿題や課題を求めてまいります。

(2) 保護者

「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている」・・・・・・・・・・77.8%

「教員の ICT 機器の使用は、内容を理解する上で効果的である」・・・・95.3%

「学校の学習活動への取組に満足している」・・・・・・・・・・・・84.0%

*学校の学習活動への取組に概ねご満足いただいています。生徒にとって「学力が定着する授業」を実現するために、学力調査結果を分析するなどして学校全体で授業改善に取り組んでまいります。

3. 学校生活

(1) 生徒

- 「学校の生活についての指導は適切で納得できる」・・・77.1%
- 「自分は校則やマナーを守っている」・・・91.6%
- 「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」・・・72.2%
- 「困っていることや悩みを相談できる先生がいる」・・・46.7%
- 「困っていることや悩みを相談できる友人または先輩（後輩）がいる」・75.8%（新規）
- 「学校の先生との関係に満足している」・・・81.5%
- 「学校の友人関係に満足している」・・・88.1%

(2) 保護者

- 「学校の生活についての指導に満足している」・・・82.1%
- 「子どもから学校や先生に対する不満を聞くことはない」・・・63.7%
- 「子どもは校則やマナーをよく守っている」・・・90.1%
- 「学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」・・・73.6%

*生徒は先生との関係に概ね満足しているようです。今年度より生徒への質問項目に、「困っていることや悩みを相談できる友人または先輩（後輩）がいる」を追加しました。引き続き生徒観察やアンケート、懇談会等を通じて、生徒の課題や悩みを把握するとともに、生徒理解に努めた上で指導や助言方法を工夫し、生徒に信頼され生徒が相談しやすい学校づくりをすすめてまいります。

4. 特色ある取組、豊かな感性

(1) 生徒

- 「総合的な学習の時間などの探究活動によって、深く考える力、情報を収集する力、発表する力などが身についた」・・・80.6%
- 「将来の進路や生き方について考える機会がある」・・・65.6%
- 「道徳の時間で自分の生き方やふるまい、心の持ち方などについて考えることができている」・・・79.3%
- 「学校の人権教育は適切である」・・・85.0%
- 「学校行事に参加するのは楽しい」・・・87.7%
- 「学校の食に関する取組に満足している」・・・55.5%
- 「学校は国際交流やイングリッシュキャンプ、海外研修等を通して、グローバルな視野やコミュニケーション力の育成に努めている」・・・89.0%
- 「学校は様々な教育活動を通して、社会への貢献意識や将来社会で活躍する力の育成に努めている」・・・89.9%

(2) 保護者

- 「学校は子どもに生命を大切にできる心や社会ルールを守る態度を育てようとしている」・・・85.8%
- 「学校の人権への取組に満足している」・・・83.5%
- 「学校は国際交流を積極的に行っている」・・・94.8%
- 「学校の学校行事への取組に満足している」・・・90.1%

*国際交流、海外研修などの本校独自の取組及び学校行事に関して生徒・保護者両者から高い満足度を得られました。来年度は中学校が3つの学年が揃うとともに、1期生にとっては中学生として集大成の年となります。総合的な学習の時間等の探究活動や道徳科の時間については、さらに内容を充実させるとともに、自分の生き方について深く考えたり、社会の課題について提案できる力等の育成に取り組んでまいります。

5. 保護者連携

(1) 生徒

- 「学校の様子や友人のことを家で話す」・・・73.1%
- 「学校はホームページ・ブログなどで情報をよく流している」・・・88.5%
- 「学校からの連絡を保護者に伝えている」・・・78.0%

(2) 保護者

- 「学校からの連絡は子どもを通じて把握している」・・・62.7%
- 「学校はホームページ・ブログなどで情報をよく流している」・・・93.4%
- 「学校は教育方針をわかりやすく伝えている」・・・90.1%
- 「学校は保護者が授業を参観する機会をよく設けている」・・・89.6%
- 「保護者説明会や学級懇談会の回数は適当である」・・・92.5%

*学校からの情報発信については概ね良好なご回答をいただいております。ただ、学校が連絡のメールを多用することにより、学校からの連絡を生徒を通じて把握するための会話が減ってしまうことを危惧しています。ご家庭においてお子様を通じての情報共有が一層可能となるようはたらかけたいと考えておりますので、ご協力いただきますようお願い致します。

※自由記述において、皆様方から様々なご意見をいただきました。記述していただいたご意見は、個人情報観点から公表はいたしません。すでに教職員には周知しております。また、学校運営協議会においても共有化を図る予定であり、今後の教育改善に生かしてまいります。